



Injection for Innovation

つなぎ、はぐくむ、日精のモノづくり

第三次中期経営計画について



日精樹脂工業株式会社

2019年5月

【2020年3月期～2022年3月期】 第三次中期経営計画

射出成形機業界の動向

- ✓ 足元の設備投資マインドの減退（中国景気減退に対する様子見）
- ✓ 部材調達難
- ✓ 部品加工先の逼迫
- ✓ 競合メーカーの戦略の相似化（競争激化）、価格競争の激化
- ✓ 新興国メーカーの台頭

社会・経済構造の変化、社会の要請

- ✓ 持続可能な社会の実現に向けた企業の取り組み
- ✓ 使い捨てプラの使用禁止（環境規制の強化）、海洋プラスチック問題への対策（グリーンプラの普及推進）
- ✓ 働き方改革
- ✓ ダイバーシティの推進、女性活躍推進
- ✓ 少子高齢化への対応

業種別動向

- ✓ 自動車産業の変革（自動運転対応の技術開発、EVシフト等）
- ✓ 電子部品の車載シフト
- ✓ デジタルインフラの整備・普及（5G通信、ビッグデータの活用）
- ✓ IoT化、ロボット化の進展、AI技術の進化
- ✓ 東京オリンピックに向けた設備需要の持続（住設関連、日用雑貨）
- ✓ 医療、容器業界の安定推移

世界経済のリスク

- ✓ 為替相場の急激な変動
- ✓ 保護主義の台頭による貿易の停滞（米中貿易摩擦）
- ✓ 英国のEU離脱
- ✓ 新興国の金融リスク（通貨下落による成長の減退）
- ✓ 新興国での人件費の高騰
- ✓ 地政学リスク

【経営ミッション】

私たちの経営ミッションはお客様の価値を創造することです。そしてお客様に満足していただき、射出成形技術を通して社会に貢献します。

【経営理念】

世界の日精
プラスチックを通して人間社会を豊かにする

【経営目標】

1. グローバル経営体制の強化

- ・ 連結経営機能を更に強化し、グローバル経営を実践する。
- ・ キャッシュフロー経営を重視し、収益力を更に強化する。
- ・ パートナー企業とのサプライチェーンを強化する。

2. お客様満足度の充実

- ・ グローバルネットワークにより、お客様の満足度充実を図り、企業価値を高める。

3. 環境経営の強化

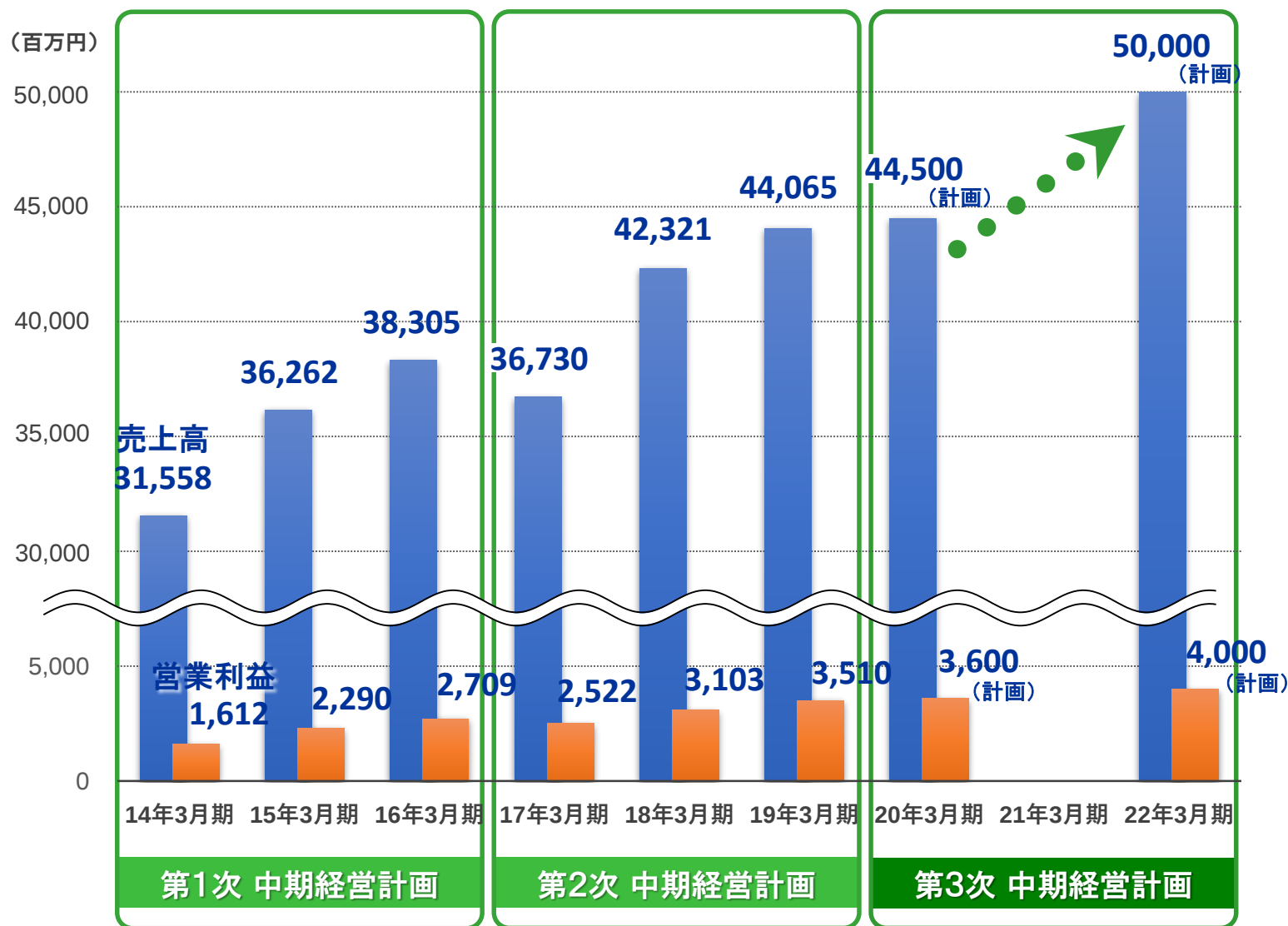
- ・ グローバル環境経営への対応を図り、省資源・省エネルギー等に配慮した取組みを強化する。

4. グローバル人材の育成と活用

- ・ グローバル人材の育成と活用を図る。
- ・ 社員の働きがいを実感させ、グローバル企業としての価値を高める。

本3ヵ年(2019年度～2021年度)は、
グローバル経営を進化させ、
グローバル環境への対応を図り、
「フューチャーデザイン2026」※の
達成に向けた体制づくりを行う。

※「フューチャーデザイン2026」: 長期的な観点から成長戦略や業績目標を見据え、
取組みを進めている長期的な経営目標



経営方針

1. 真のグローバル経営の強化

- 世界規模で進展する市場変化のなかで、環境経営を強化し、高収益企業としてグローバルな展開を図り、自力成長力を強化する

3. グローバル生産体制の強化

- 4極生産体制により生産能力を増強すると共に、生産技術力と品質保証体制を強化する
- グローバル調達体制の強化と、内製化の推進により更なるコストダウンを図る

2. グローバル市場への積極的展開による営業強化

- 営業力の強化と新たなビジネスモデルの創出により売上増大を図る
- 革新的な営業戦略により、お客様にご満足頂ける提案型営業を行うとともに、ボーダレス化、IoT化に呼応して、グローバル市場への積極的な展開を図る
- 持続可能な開発目標(SDGs)、成形の理(ことわり)を具現化する製品を計画的に投入する

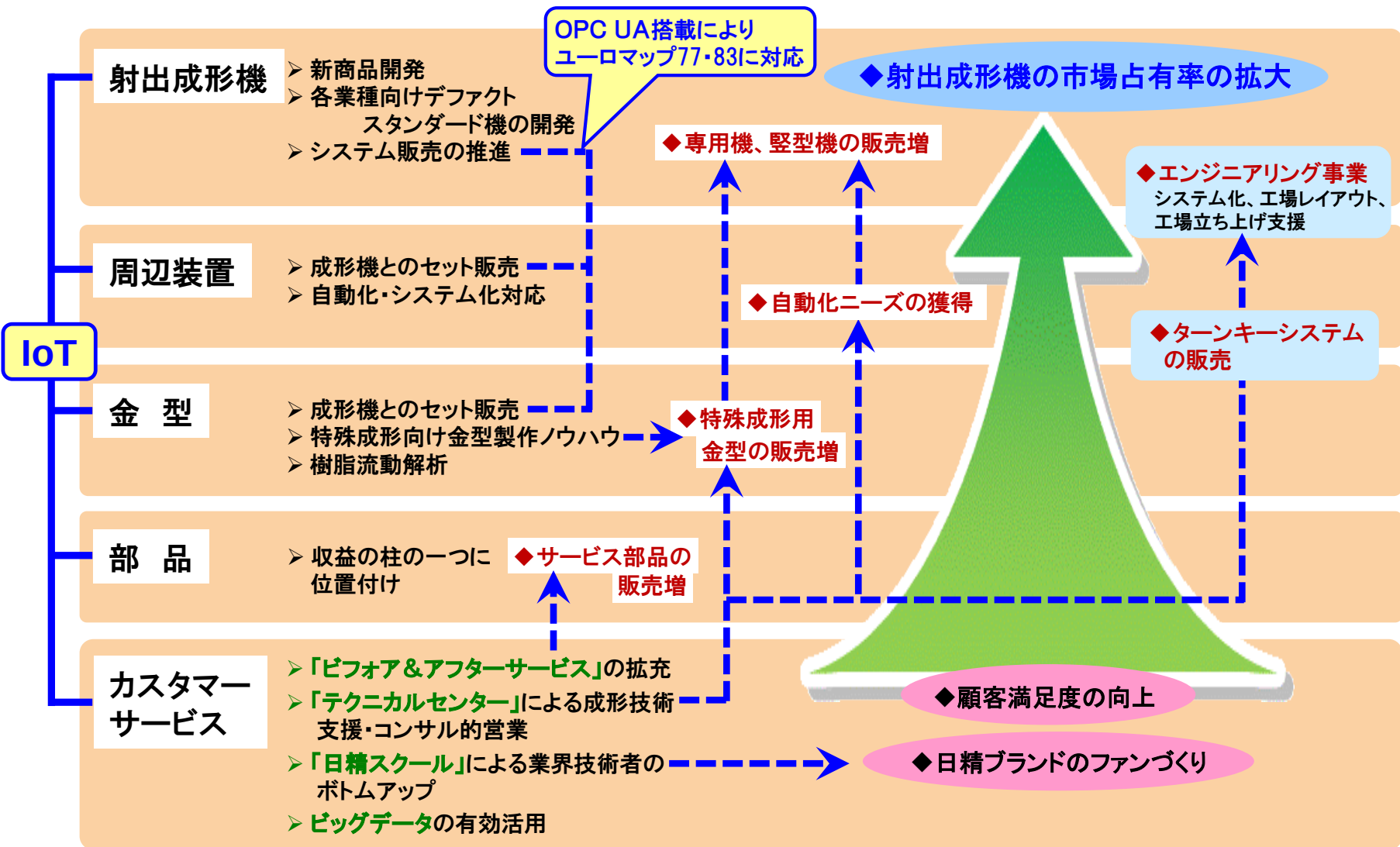
4. グローバルリスク管理体制の強化

- リーガルリスクに対応した製・販・財戦略とマネジメント体制を強化する
- コーポレートガバナンス、BCP等に対応したマネジメント体制を強化する
- グローバルに対応できる人材育成を図る

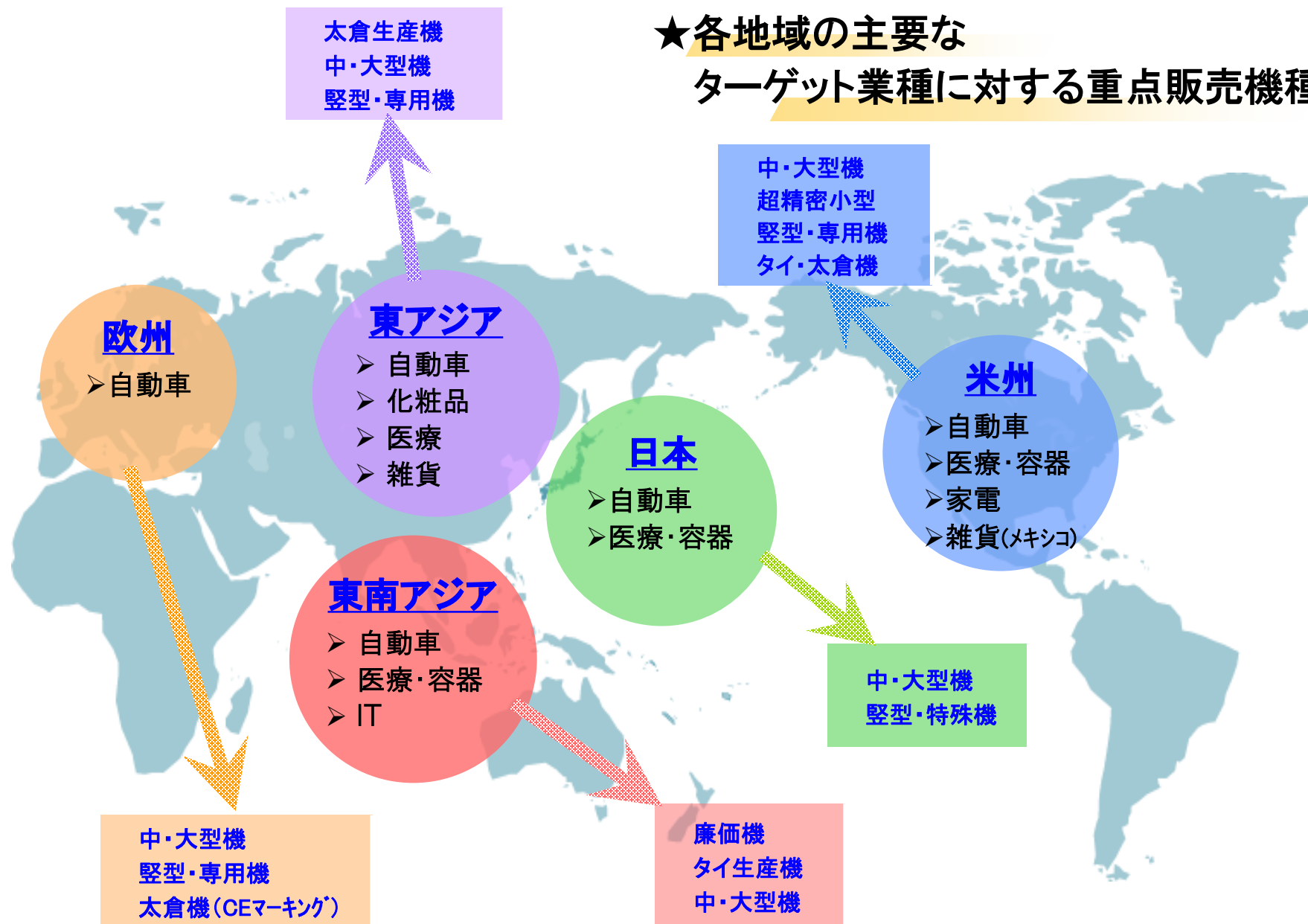
1. セールス戦略

- 提案型営業により、ソリューションビジネスモデルを提案し、お客様にご満足を提供する。
グローバル市場で自動車、OA・電子、医療・容器・化粧品を3本柱としてセールス展開を強化する。
- 2026年世界シェア拡大実現に向け、2022年3月期での国内シェアおよび米国シェアの拡大を目指す。
- 2022年3月期国内の大型機シェア、中型機シェア、縦型シェアの拡大を目指す。
- 新たな成長市場、未開拓市場への積極展開を図る。（欧州市場等、IoT活用）

日精ビジネスモデルの展開



★各地域の主要な ターゲット業種に対する重点販売機種



2. 商品戦略

- お客様の要請を的確にとらえ、お客様が儲かる新商品・新技術を提供する。
- グローバル化に呼応した成形工場のIoT化（NISSEI 4.0）と競合他社との差別化技術を提供する。
- 中・長期ロードマップに基づく計画的な商品開発・研究開発を行い、市場投入を図る。

3. プロダクト戦略

- グローバル調達、グローバルサプライチェーンの強化と商流見直し等により、安定的な生産体制を構築する。
- 日精メタルワークス、日精ホンママシナリーの活用と、協力会社等との連携により国内生産体制を強化する。
- 本社工場、太倉工場、タイ工場、米国工場の生産能力の強化とともに、生産構成の見直しを図る。
- 生産技術力の強化とグローバル品質保証体制の充実を図る。

本社・工場



日精メタルワークス

- 外注運営の見直し、内製化率引き上げ、中・大型、堅型、特殊機生産体制の強化
- 新規工作機械導入による内製化の促進
- 生産技術・品質保証部門の人材力を高め、内外生産の品質向上と指導強化
- 日精メタルワークスの更なる事業拡大
- 日精ホンマシナリーとのコラボによる内製拡大・原価低減

日精ホンマシナリー

- 本社とのコラボ



グローバルなプロダクト戦略

- ◎ グローバルサプライチェーンの強化により、品質・コスト・納期対応の向上、為替リスク低減
- ◎ グローバルな品質保証体制の強化
...世界同一品質の実現
- ◎ 内外拠点の一元的在庫管理
- ◎ グローバル調達体制の強化...各拠点の最適調達

米国・テキサス工場



- 生産能力の向上と改造体制構築
- 倉庫スペースの活用
- 現地調達、内製化推進

中国・太倉工場



- 生産能力の増強(増築)
- 本社・タイ工場・米国工場向け機構ユニットおよび部品供給の拡充
- 現地調達率の向上...100%海外部品化、国内生産機への展開
- ISO認証維持・管理

タイ工場



- 生産機種構成の見直し
- 現地調達率の向上
...原産地証明取得推進、インド市場へ拡販
- 内製拡大による付加価値向上...パネル内製
化、加工設備増強検討
- ISO認証維持・管理

中国太倉工場



日精塑料機械(太倉)有限公司

2009年7月	設立
2009年11月	稼動開始
2015年1月	移転・拡張
2019年	増築中

- 本社・タイ工場・米国工場向け機構ユニットおよび部品供給の拡充
- 現地調達率の向上・・・100%海外部品化、国内生産機への展開
- ISO認証維持・管理



タイ工場

NISSEI PLASTIC MACHINERY (THAILAND) CO., LTD.

2012年5月 設立
2013年4月 稼動開始



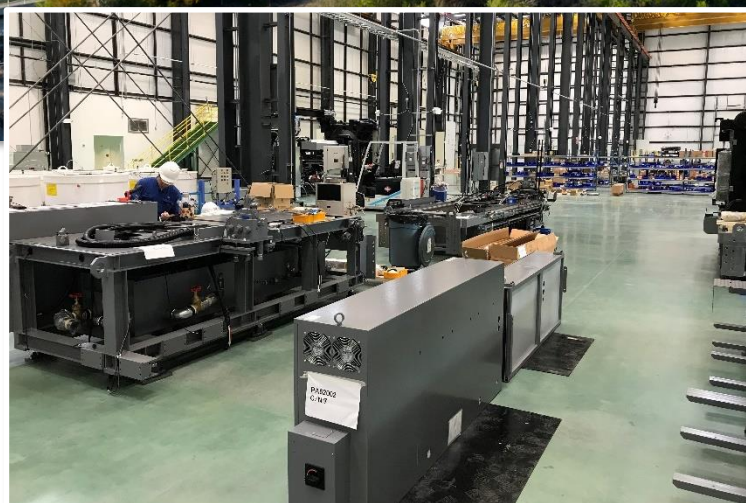
- 生産機種構成の見直し
- 現地調達率の向上 ... 原産地証明取得推進、インド市場へ拡販
- 内製拡大による付加価値向上 ... パネル内製化、加工設備増強検討
- ISO認証維持・管理



米国テキサス工場

NISSEI PLASTIC MACHINERY AMERICA INC.

2016年11月 設立
2018年3月 稼動開始

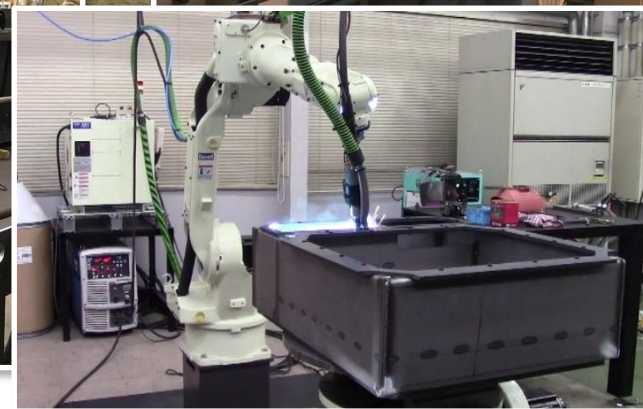
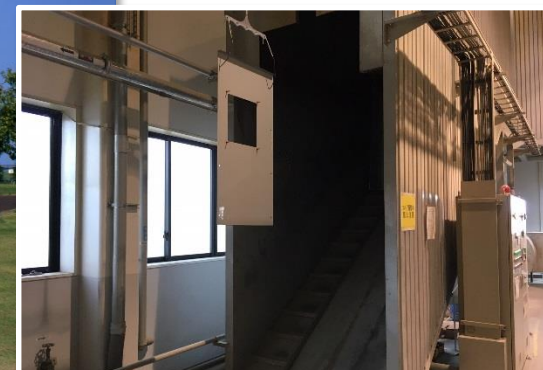


日精メタルワークス

日精メタルワークス株式会社

2006月10月 工場取得
2013年12月 会社設立
2014年4月 稼動開始

- 事業拡大・・・板金・製缶・盤配・塗装の
内製化率引上げ



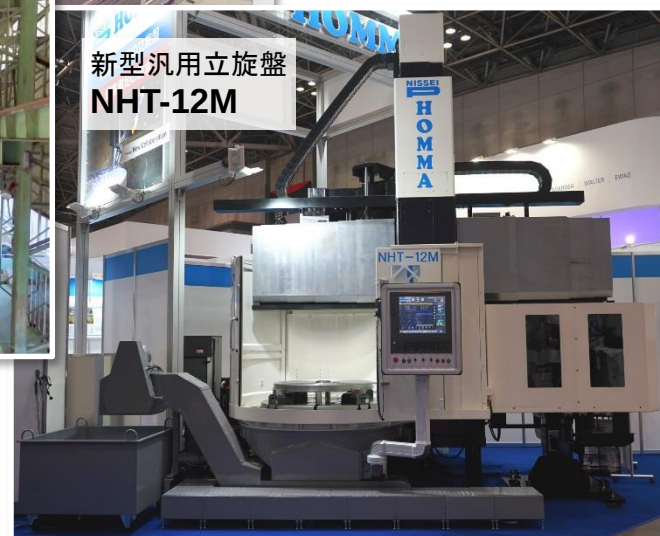
日精ホンママシナリー

日精ホンママシナリー株式会社

1946年2月 創業
(本間鑄造所)
2017年8月 設立
2017年10月 稼動開始



- 本社・海外工場とのコラボレーション
- 工事進行基準の導入
- 汎用立旋盤の生産



4. コスト戦略

- 各工場の内製化を強化するとともに、グローバル調達によるコストダウンを推進する。
- 部品点数削減、部品の共通化等による技術的コストダウンを推進する。
- 有形・無形固定資産の戦略的活用を図る。

5. サービス戦略

- グローバルなサービスネットワーク(パーツセンター、コールセンター)構築によりサービス力を強化する。
- IoT技術(NISSEI 4.0)に基づくサービスを提供することによりお客様の生産効率改善に寄与し、お客様の満足度を向上する。
- 部品販売およびビフォア・アフターサービス業務を収益の柱と捉え、サービス販売を強化する。

6. 人事戦略

- グローバルに対応できる人材育成を図る。
- グローバルな人事労務管理と人事制度改革により、労働生産性の向上を図る。

7. リスク管理体制

- グローバル化によるリスク拡大を想定したリスク管理体制の強化。
- グループ統一の子会社運営管理体制の強化。
- 全拠点でのBCP、コンプライアンス、内部統制、法制度対応体制を強化する。
- 収益認識に関する会計基準導入に伴う体制構築を図る。

SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた世界を良くするための17の目標。

経済・社会・環境の三側面の向上を目指す中で、日精樹脂が主体的に行動できることとは何かを真剣に考え、そして実行しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



企業活動と地球環境の調和を目指して、省資源・省エネルギー・汚染防止に努め、環境に配慮したモノづくりを積極的に展開しています。

地球環境との調和を目指した企業活動

建築物のZEB化を推進(ZEBリーディング・オーナーに登録)

当社は、年間で消費するエネルギー量を大幅に削減可能な建築物(ZEB=ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を積極的に取り入れています。本社内にある研究開発センターとQC(品質管理)棟は、50%超の省エネルギーを実現する『ZEB Ready』に該当し、建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の評価で5つ星を獲得したことから、『ZEBリーディング・オーナー』に認定されました。今後もZEBの普及・拡大に努めてまいります。



研究開発センター



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



13 気候変動に
具体的な対策を



11 住み続けられる
まちづくりを



QC棟

再生可能エネルギーの推進(本社・工場の3つの建屋に太陽光発電設備を設置)

当社は、再生可能エネルギーを積極的に活用するため、本社内の3つの建物に、太陽光発電設備を設置。年間300トン超のCO2削減を実現しています。



成形技術センター



第7工場と第8工場

企業活動と地球環境の調和を目指して、省資源・省エネルギー・汚染防止に努め、環境に配慮したモノづくりを積極的に展開しています。

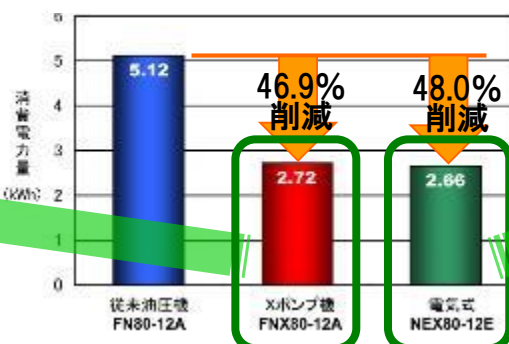


環境負荷低減につながる成形機 & 成形技術開発

省エネルギー型の射出成形機の開発

消費電力比較

《ハイブリッド式 vs 電気式 vs 従来油圧式》



当社独自のハイブリッドポンプシステム搭載
ハイブリッド式射出成形機

ACサーボモータ駆動の
電気式射出成形機

成形材料ロスの削減、省エネを実現する成形法、 リサイクル技術の確立

◆成形不良を低減する低圧成形システム、リペレットによるリサイクル提案など

『グリーンマテリアル』の射出成形技術、成形システムの開発

(バイオプラ、ウッドプラ、紙プラ、パルプ等)

グリーンマテリアル仕様の
N-PLAjet成形システム





日精樹脂工業株式會社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
